

のびのびひろば

開催日 毎週 火・水・金曜日
時間 9:30～14:30
場所 みなみ保育園

保育園の子育て支援室を
開放しています。
子育て仲間を誘ってゆったり
過ごしてくださいね。
室内のおもちゃは自由に使えます。

乳幼児に多い感染症

ヘルパンギーナ

●症状
・高い熱がでる
・喉に赤い発疹や水ぼうがができる
ヘルパンギーナにかかると、喉が痛むため、熱があっても水分をとるのを嫌がります。また、下痢や嘔吐、熱性けいれんを起こすこともあります。

●注意すること
のどの痛み、熱のある間は安静にします。食事はのどごしのよいものにします。発熱や口の中の発疹・痛みが治まり、普段の食事がとれ、全身状態がよければ登園が可能です。

季節の草花

ヒガンバナ

暑さが和らいだところに、それまで何もなかったような場所から次々と、花を咲かせます。咲き終わりに地際(株元と地面の境)を見ると、花茎のそばから小さな葉っぱが出ているのがわかります。彼岸花は、9月にまず花を咲かせ、その後に葉っぱを出すのです。

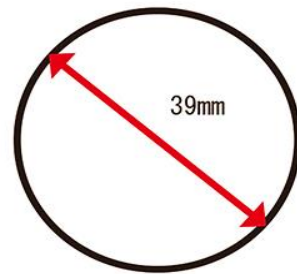


ご家庭での事故やけがへの注意は万全でしょうか？ 小さな子どもは、まだ何が危険かを予測することができず、好奇心旺盛で怖いもの知らずです。大人が、安全な環境を整えてあげましょう。

家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか？0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。

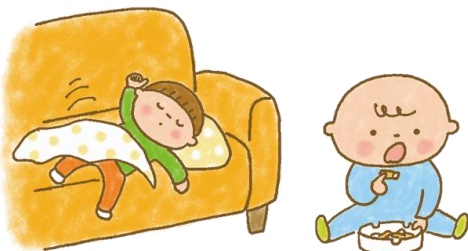
家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。



小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきに溺れるなど、水の事故の危険があります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

ベランダ

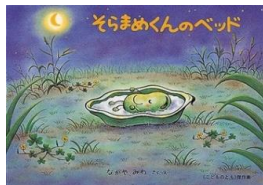


台などにのぼって手すりを超える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。

おすすめの絵本

そらめくんのベッド

作・絵：なかや みわ
出版社：福音館書店



そらめくんの宝物は、ベッド。雲のようにふわふわで、わたのようにやわらかいです。えだめくんと、グリーンピースのきょうだいが「そのベッドでねむってみたいなあ」といいますが、「だめ、だめ」と誰にもつかわせようとしません。ところがある日、大事なベッドがなくなってしまう。さんざん探して、とうとうベッドを見つけたそらめくんは・・・？

めがねうさぎ

作・絵：せな けいこ
出版社：ポプラ出版



めがわんくになってきて、めがねをかつたうさこ。ともだちに「めがねうさぎ」「めがねうさぎ」と呼ばれると、ちょっぴりはずかしいような、ちょっぴりとくいような。ところが、山へ遊びに行った日の夜、寝る前にめがねをはずそうとして気がつきます。「あれ！めがねがない！」なんてうっかりで呑気なうさこなのでしょう。うさこは、夜なのに山へめがねをさがしに出かけます。だけど、森のおくにはたいくつでたいくつで困っているおばけがいるのです。夜中にやってきたうさこを見て、はりきったおばけが飛び出します。「べろべろばあー！」これはさすがに驚くでしょう。うさこ、だいじょうぶなのかな？・・・と思ったら！？

まだまだ、暑い日が続いていますが、少しずつ秋の気配を感じるようになってきました。子どもたちは汗をかきながら元気に遊んでいますが、引き続き熱中症対策やこまめな水分補給を心がけ、安全に過ごせるよう見守っていきましょう。また、夏の疲れが出やすい時期でもありますので、十分な睡眠やバランスの良い食事をとることが大切です。季節の変わり目に体調を崩さないよう、服装の調節なども意識していきましょう。